
目次

特集

中国における快遞（宅配）作業員の実態

1. 業界動向、統計数字

- (1) 持ち帰り食品市場では発泡プラスチック容器が主流 処理は焼却
- (2) 新聞紙市場連続下降、生産品目転換も相次ぐ
- (3) 上半年、印刷設備器材輸出入前年同期比 4.23%減

2. 政策・法規

- (1) 全国印刷標準化技術委員会、天津東洋インキとの合作を継続

3. 新製品、新材料

- (1) 武漢理工大学、宅配便で使用可能な折り畳み式硬質プラスチック包装を開発

4. 環境・安全・リサイクル

- (1) 食品用プラスチックフィルム、残留溶剤が問題

5. 物流

- (1) 日通、アリババと提携 国際ネット通販 中国向け送料安く
- (2) 電動物流車の快遞（宅配）業界に及ぼす課題
- (3) 中国と欧州を結ぶ貨物列車「中欧班列」、運行本数が急増
- (4) 天猫スーパスマート倉庫、「物が人を探す」で効率向上
- (5) 「中亜班列」南通～アフガニスタン・ハイラターン区間が開通

6. 中国トピックス

- (1) 中国消費市場に新3特徴、楽しさ追及など
- (2) 中国証監会、「深港通」導入を正式認可
- (3) 中国の生産能力削減、成果発表相次ぐ 上半期の進捗は想定通り
- (4) 人民網は中国の過剰生産能力削減は難航と報道
- (5) 7月の製造業 PMI は 49.9% ボーダーをやや下回る

- (6) 中国の原油輸入量が史上最高を更新 2016年上半期
 - (7) ターニングポイントを迎えた外資系企業
 - (8) 杭州市がG20サミット一色に
 - (9) 交通分野への民間資本導入を促進へ
 - (10) 京東商城、コーセーコスモポートと戦略的提携締結
 - (11) 米アップル、中国に初のR&Dセンター設立を計画
 - (12) ユニクロ、利益が5割減 ファストファッションに課題
 - (13) 米モンスター・エナジー 「怪獣」は先に登録されており中国では「鬼爪」
 - (14) 中国の投資グループがACミランを7億4000万ユーロで買収
 - (15) 広東省、資産1千万元以上の富豪が最も多い省に
 - (16) 「熱い飲み物を飲む」ことで癌に? WHOが認める
 - (17) リオ卓球女子団体、表彰台に上がった9人のうち、7人が中国の東北訛り
-

特集

中国における快遞（宅配）作業員の実態

先に中国快遞業の現状について報告したが、今日は快遞業で働く203万人の作業員の実態について報告する。

5月5日、2016「2016全国社会化電商物流従業員研究報告」が北京で発表された。これは電商物流従業員に関する初めての専門的な調査で、北京交通大学、阿里研究員、菜鸟網絡連合が共同発表したものである。報告では2015年の全国社会化電商の従業員は203.3万人、彼らが送貨した小荷物は206億個に上る。また、報告は従業員の生活・業務実態を報告している。

1) 快遞従業員の生活現状

① 全国の従業員数

全国の電商従業員数は203.3万人。このうち、第一線で活躍する配達員は163.6万人、第二線の現場スタッフは33.8万人、本社勤務の第三戦従業員は5.9万人。

2005年から2016年まで快遞業務量は24倍に増加した。しかし従業員は13倍に増加したのみ。快遞産業の生産性は2倍に上がったことになる。なお、ここでいう従業員とは、集荷、配送、倉庫、仕分け、貨物運輸、管理等すべての人員を含む。

② 快遞員の毎日の仕事量

約8割の従業員の平均勤務時間は8時間を超えている。24%を超える人員が12時間以上働いている。快遞員が一日に扱う量は100~150件の間で、年末や独身の日前後には150件を超える。

③快遞員の毎月の給与

快遞員の毎月の給与は基本給+歩合給より成っている。53.4%の人が2001~4000元、28.6%の拠点従業員の給与は4001~6000元、8000元を超えるひとはわずか1%であった。倉庫管理人の給与は安定しており、平均3000元前後であった。8000元以上貰っている人は経済発展著しい都心の拠点の従業員である。

④快遞員の勤続年数

約80%の快遞員の勤続年数は半年以上3年以下である。倉庫操作人員中45.9%が1~3年の勤続年数である。各種作業員をあわせて3年以上の勤続者はごくわずかであった。拠点の従業員の流動性は高く、50%の拠点で勤続は1年未満であった。

⑤快遞員の年齢

20~30歳が40%以上を占めた。63.8%の拠点で30~40歳の従業員はわずか10%に過ぎなかつたが15%の拠点では30~40歳の従業員比率が40%を超えた。

⑥快遞員は退職後どこへ行くのか？

快遞員の80%は農村出身者である。離職後の4大行先は、弁当の出前、ボトル水の配達、運転手、故郷へ帰る、であった。快遞員の流動は業界発展の大きな障害になっている。

2) 快遞運輸車両の路上での困難

快遞員は毎日70~80キロを走行するが、多くの路地では運搬車の通行制限がある。特に最後の1キロが難関である。

①幹線運輸の政策は各地で異なる。中国では貨物運輸政策は各市に任せられている。各市毎に法規が異なることが幹線運輸の障害になっている

②社会の快遞員に対する認識が低く、一般市民は快遞員の苦労やリスクを理解していない。客から荷物破損の苦情があった場合、殆どの場合配達員の責任となり罰金の対象となってしまう。また、荷物は戸口まで届けるのが原則であるが、アパートの上層階へ届けている間に、運搬車が荷物ごと盗難に会うケースもある。

③拠点の管理者人材の不足も大きな問題である。電商の急速な発展に人材補給が追いつかないのが現状である。

④快遞業のコストが年々上昇している。設備の増強・更新に多大の費用が掛かっている。

また、業界の当日配達、翌日配達のサービス競争もコスト上昇を招いている。

3) 電商物流の未来は自動化発展に掛かっている。

①倉庫内作業への自動化機器の大量採用

2020年には中国の電商物流件数は1000億個に達すると見られている。毎日の処理量は3億個を超え、関係する人員は600万人と予想される。しかし、中国は少子化・労働力不足が顕在化している。この局面を開拓するには、仕分け、倉庫作業を自動化する以外にない。今や最後の1キロの配達を無人化する動きが出ている。

②物流ネットワークの形成

電商物流企业は1社が単独で配送する時代から2社あるいは数社がネットワークを組んで配送を行う仕組みつくり必要となるだろう。中国は広大な国土と人口を有している。国情に見合った発展様式があるはずだ。

1. 業界動向、統計数字

(1) 持ち帰り食品市場では発泡プラスチック容器が主流 処理は焼却

持ち帰り食品市場は大発展の途上にあるが、そこで使用されている容器の大部分は発泡プラスチックである。環保面からでんぶん原料食器や紙食器の使用が推奨されているが、これらはコストが高く市場では殆ど見られない。家庭に持ち帰った食器は用済み後一般ごみとして捨てられ、最終処分は焼却、焼却灰は埋設処理される。発泡プラスチック容器が解禁になったとき盛んに言われた、発泡容器は回収・再利用可能な環保容器だという話はどこへ行ったのか？（中国包装網8月1日）

(2) 新聞紙市場連続下降、生産品目転換も相次ぐ

中国報業協会の発表によれば、2016年上半年の新聞用紙の需要量は前年同期比8.2万トン減少した。（減少率14.3%）新聞用紙使用量はここ数年連続して下降しており4年前380万トンあった市場は今年の予測では210万トンに縮小している。また、価格は2008年の最高時期は5800元/トンだったものが4100元前後となっている。新聞紙生産企業は転産を考えており、山東華泰紙業は6台あった新聞紙生産機のうち3台を文化紙あるいは包装紙生産に改変した。
不完全統計によれば、毎年1~2社の新聞紙生産会社が新聞紙市場から撤退しているという。国内には十数社の新聞紙生産企業があったが、大手が数社残るだけとなるだろう。（中国包装網8月4日）

(3) 上半年、印刷設備器材輸出入前年同期比4.23%減

2016年上半年、印刷設備器材の輸出入総額は21億5890万ドルで、前年同期比4.23%減であった。このうち輸入は9億8032万ドルで9.67%減、輸出は11億7858万ドルで0.83%増であった。（中国包装網8月16日）

2. 政策・法規

(1) 全国印刷標準化技術委員会、天津東洋インキとの合作を継続

全国印刷標準化委員会の胡桂綿秘書長一行3人は天津東洋インキを訪問、2007年4月20日に結んだ合作契約を継続することで合意した。

（中国包装網8月19日）

3. 新製品、新材料

(1) 武漢理工大学、宅配便で使用可能な折り畳み式硬質プラスチック包装を開発

武漢大学机电工程学院の大学生は、最近開催された第 9 回全国大学生省エネ減排社会実践競技会で、「宅配便で使用可能な折り畳み式硬質プラスチック包装」を出品し特等を獲得した。この容器は再利用が可能で早期の実用化が期待されている。

(中国包装網 8 月 16 日)

4. 環境・安全・リサイクル

(1) 食品用プラスチックフィルム、残留溶剤が問題

広東省品質局は 3 月から 6 月にかけて食品用プラスチック袋等 10 類の関連商品について各 60 商品、合計 600 商品の抜き取り検査を実施した。その結果 33 商品が不合格となった。(不合格率 2.62%) 33 の不合格商品のうち 18 商品はプラスチック袋の残留溶剤過多であった。瀬戸物製品では 7 商品が不合格であった。不合格理由は熱水に対する割れと吸水率であった。圧力鍋（密封性不合格）、食品用洗剤容器（密封性不合格）、プラスチック食器（衛生性不合格）にも不合格品があった。

(中国包装網 8 月 4 日)

5. 物流

(1) 日通、アリババと提携 国際ネット通販 中国向け送料安く

アリババグループ傘下の菜鸟网络と日本通運は、「天猫国際（Tmall Global）」を利用する消費者を対象とした日本製商品の輸送・集荷サービスに関して業務提携することになった。全新型の物流モデルによって、海外輸送費が 30%以上引き下げられ、買い手は輸送の全プロセスにおいて商品の配送状況を確認することができる。

日本通運は国際運送企業の日本最大手。菜鸟网络との提携後、日本通運は、「天猫国際」で購入された日本商品の海外保管・幹線輸送業務を取り扱う。菜鸟网络は、商品が港湾に到着後、通関・国内輸送業務を担当する。(人民網 8 月 5 日)

(2) 電動物流車の快遞（宅配）業界に及ぼす課題

2015 年末、国家郵政局は電動物流三輪車に関する法規「快遞専用電動三輪車技術要求」を公開した。この法規が正式に実施されると、電動物流三輪車は合法的身份が与えられる。しかし、これで電動三輪車が抱える課題が完全解決するわけではない。

国家郵政局の予測では、2016 年の宅配業務量は 275 億件に達する見込である。現状、大多数の宅配業者は最後の 1 キロメートルの配達に電動三輪車を用いるようになってきた。電動三輪車は利便性が高いが交通安全上の問題も内在している。

- ①電動物流三輪車は種々の政策的特典を得ているが、依然としてコスト高である
- ②電動物流三輪車の運転は比較的高度な運転技術が要求されるが、訓練施設（学校）

等は整備途上である

③電動物流三輪車の製品技術はまだ十分成熟しているとは言えない。

④電動物流三輪車に対する充電基礎設備が不完全である。

⑤電動物流三輪車に対するアフターサービス体制が不十分

新エネルギー車の推進は国家的事業である。宅配業界は電動物流三輪車の普及に一致団結して望まねばならない。（中国物流購買網 7月 29日）

（3）中国と欧州を結ぶ貨物列車「中欧班列」、運行本数が急増

2016年7月21日10時18分、衣類や綿布などの日用品を満載した中国と欧州を結ぶ貨物列車「中欧班列」X8024号（スペインのマドリード行き）が浙江省の義烏西駅を出発し、中欧班列の運行本数は累計2000本となった。中欧班列は運行1本目から500本目までに4年、501本目から1000本目までに7カ月余り、1001本目から1500本目に5カ月かかったが、1501本目から2000本目に要したのはわずか3カ月半だった。中国鉄路総公司はここ数年、中欧班列を「一带一路」建設の重要な措置として、関連する地方政府や沿線国と鉄道を通じた協調を強化。中欧班列の手配の拡大、サービス保障の段階的拡充で、中欧班列の運行本数を大幅に増やし、順調に発展させた。運行本数とエリアは次第に拡大している。（中国網 8月 2日）

（4）天猫スーパスマート倉庫、「物が人を探す」で効率向上

アリババ系ショッピングモールサイト「天猫（Tmall）」はこのほどスーパー事業に進出し、対応する「天猫スーパスマート倉庫」が始動した。このスマートシステムでは商品をそろえる過程での「人が物を探して動き回る」スタイルが、「物が人を探して動き回る」スタイルへと変わっており、一日当たり100万点の商品の取り扱いが可能だ。「京華時報」が伝えた。

消費者が天猫スーパーで注文すると、倉庫にはリアルタイムで受注情報が届き、注文ごとにバーコードが設定され、バーコードは宅配便の箱に添付される。次に箱は自動化されたレーンを動き始め、目指す商品のある棚へと移動する。箱が到着し、棚ごとに割り当てられた担当者が商品を箱に入れると、箱はまた次の商品の棚へと移動する。すべての商品がそろうと箱は自動的に出口に向かう。この自動化システムは精度が高く効率も高く、4万種類を超える取扱商品の中から正確に必要な商品を抜き出すことができ、注文処理の効率が30%以上向上するという。

人民網 8月 16日）

（5）「中亜班列」南通～アフガニスタン・ハイラターン区間が開通

中国と中央アジアを結ぶ中亜国際貨物専用列車（南通～アフガニスタン・ハイラターン）の最初の列車が25日、江蘇省の南通鉄道貨物東駅を出発した。列車は南

通海門市とアフガニスタンのハイーラターンを結ぶ国家貨物輸送コンテナ専用線で、毎月 2 往復、月最低 90TEU(20 フィートコンテナ換算)の貨物の輸出入に使われる。専用列車は南通の利便性の高い交通条件と産業・流通・物流機能を活かし、海門工業団地豊石橋港で通関手続きを実施、新疆ウイグル自治区の阿拉山口駅から出国、カザフスタン、ウズベキスタンを経由し、アフガニスタンのハイーラターンまで外国貿易製品を輸送する。(中国網 8 月 26 日)

6. 中国トピックス

(1) 中国消費市場に新 3 特徴、楽しさ追及など

ジェトロは今年 1~6 月に在中国日系企業 30 社を対象とする訪問調査を実施し、「最近の中国の社会消費の特徴をどうみるか」をたずねた。企業が寄せた回答から次の 3 つの特徴が導き出される。

- (1) 入門級ぜいたく品とサービスが人気。所得水準の向上にともない、中国人消費者は基本的な生活必需品では満足しなくなり、生活レベルの一層の向上を追求するようになった。
- (2) 安心・安全な消費。質が保証された製品であれば、値段が少しくらい高くても、中国人消費者は買いたいと思うようになった。
- (3) 楽しく個性的な商品の追求。複数の日本企業が、中国の若い世代の消費者の価値観に変化が生じ、今ではその商品に自分の支払う価格以上の価値があるかどうかを考えるようになったとの見方を示す。機能を買うのであり、ブランド品だから買うということはなくなった。(人民網 8 月 1 日)

(2) 中国証監会、「深港通」導入を正式認可

中国証券監督管理委員会(証監会)と香港証券先物委員会は 16 日に共同で、深圳と香港の株式相互取引制度「深港通(深圳・香港ストックコネクト)」の導入を正式に認可したと発表した。投資総額は制限を設けないが、1 日当たりの限度額については 130 億元とし、現行の「滬港通(上海・香港ストックコネクト)」と整合性を持たせる。深圳証券取引所経由で香港の上場株式を売買する「港股通」の 1 日当たりの限度額は 105 億元で、運営状況を見ながら投資枠を調整する。同時に「滬港通」の投資総額の制限も同日付で撤廃する。(中国網 8 月 17 日)

(3) 中国の生産能力削減、成果発表相次ぐ 上半期の進捗は想定通り

中国の生産能力削減に関する成果が最近、相次いで「発表」されている。工業信息化部(工信部)と国家発展改革委員会(発改委)によると、上半年の鉄鋼業の生産能力削減規模は 1300 万トンを超え、年間目標の 30% 前後に達した。全国 17 地区で中央企業がすでに炭鉱の閉鎖・撤退を全面的に開始し、撤退に伴う生産能力削減

規模は 7227 万トンと、通年目標 2 億 5000 万トンの 29%に達した。

上半期に通年目標の 30%前後を完了したことは全体的に想定通りだった。工信部の馮飛副部長は、上半期の主要任務、作業として目標設定と政策発表に注力したことを見た。中国の大口商品総合サービスサプライヤー、中宇資訊の関大利アナリストは、生産能力の削減が正式に政策されてから 3 カ月ほどしか経っておらず、任務の進み具体も若干遅かったと指摘。また、石炭価格が小幅に反発したこと一部企業の撤退意志が弱まったことも、進展をある程度減速させたとの見方を示している。(中国網 8 月 1 日)

(4) 人民網は中国の過剰生産能力削減は難航と報道

鉄鋼石炭業界過剰生産能力解消、苦境脱却と発展に関する関係省庁合同作業部会は 4 日北京でテレビ会議を開いた。鉄鋼については、今年の 1 月から 7 月までに、全国 28 の鉄鋼生産地と中央企業(国務院直属の国有企業)は鉄鋼精錬の余剰生産能力 2126 万トンを削減し、年間削減目標の 47%を達成した。一方、石炭については、今年の 1 月から 7 月までに、全国各地で石炭生産能力計 9500 万トンを削減し、年間目標の 38%を達成した。全体的に見れば、過剰な生産能力の解消は計画通りに進展しておらず、進展度合いも地域間で異なっている。(人民網 8 月 5 日)

(5) 7 月の製造業 PMI は 49.9% ボーダーをやや下回る

国家統計局のサイトが伝えたところによると、今年 7 月の製造業購買担当者指数(PMI)は 49.9%で前月比 0.1 ポイント低下し、景気・不景気のボーダーラインとなる 50%をやや下回った。企業の規模別にみると、大手企業の PMI は 51.2%で同 0.2 ポイント上昇し、同月のボーダーを上回った。中規模企業は 48.9%で同 0.2 ポイント低下、小規模企業は 46.9%で同 0.5 ポイント低下し、いずれも 2 カ月連続の低下となり、ボーダーも下回った。(人民網 8 月 1 日)

(6) 中国の原油輸入量が史上最高を更新 2016 年上半期

中国税関総署の最新のデータによると、2016 年上半期の中国の原油輸入量が 1 億 8650 万トンと、前年同期と比べて 2315 万トン増加し、伸び率は 14.2%に達した。半期の前年比伸び率として、2013 年、14 年、15 年の 4%、9.5%、8.8%を大きく上回った。また、中国国家発展改革委員会(発改委)のデータによると、上半期の中国の原油生産高が前年同期比 4.8%減、原油加工量は同 8.9%増だった。中国の石油企業が一部国産原油を安い輸入原油に置き換えたことが分かる。(中国網 8 月 4 日)

(7) ターニングポイントを迎えた外資系企業

最近、中国の外資系企業から「以前ほど儲からなくなった」との声が聞こえてく

る。調査では、経営にかかるプレッシャーが大きくなっているほか、中国に設立された支社などで確かに業績の下降が生じていることが明らかになった。中国経済が日に日に成熟し、独占や商業賄賂の撲滅が強化されると同時に、外資系企業に対する優遇政策も減少し、一部の外資系企業が「経営が難しくなった」と錯覚しやすい状況となっている。中国日本商会が発表した「中国経済と日本企業 2016 年白書」によると、15 年、日本の中国に対する投資額は前年同期比 25.9% 減の 32 億ドル(約 3264 億円)と、3 年連続での減少となった。日本貿易振興機構(ジェトロ)が昨年 10 月から 11 月に、中国の日系企業を対象に実施したアンケートによると、「今後 1・2 年間の事業発展の方向性」について、「事業を拡大する」と答えた企業は 38.1% だった。11 年の同割合は 66.8% だった。(人民網 8 月 4 日)

(8) 杭州市が G20 サミット一色に

第 11 回 20 カ国・地域首脳会合(G20 サミット)が 1 カ月後に杭州で開催される。杭州市委員会の責任者はこのほど開かれたメディア向けブリーフィングで、「会場建設、環境整備、セキュリティサービスなど、サミット開催の準備がほぼ整った」と述べた。

杭州サミットの会場はすべて既存施設を改造し、浙江省杭州の特色と中国の風格を体現したものとなっている。今回のサミットに向け、杭州市は 6 分野 605 件の環境整備プロジェクトを実施。2334 本の道路、33 カ所の市内入口が整備され、264 件の景観美化プロジェクトが完了した。杭州市はまた、大気汚染解消に注力しており、環境の監督管理に最も厳しい都市となっている。(中国網 8 月 6 日)

(9) 交通分野への民間資本算入を促進へ

中国の国家発展改革委員会(発改委)は 18 日、官民連携(Public Private Partnership、PPP)による高速道路建設の新規プロジェクトについて、審査認可手続きを明確化するとともに、民間資本による交通分野への投資を一段と奨励する方針を示した。

通知によると、国家高速道路網建設の新規 PPP プロジェクトのうち、政府が投資補助金を交付する場合には「核準制」(認可制)とし、政府が資本金を注入する場合には、引き続き厳格な審査を要する「審批制」(審査認可制)とし、直接フィジビリティスタディ(F/S 報告書)の審査を行うとしている。(人民網 8 月 21 日)

(10) 京東商城、コーセーコスモポートと戦略的提携締結

中国の大手 EC モール京東商城(JD.com)の越境 EC サイト、「京東全球購」(JD ワールドワイド)はこのほど、日本の人気化粧品ブランド「コーセーコスメポート」と戦略的提携を結んだと明らかにした。コーセーコスメポートは 6 月初旬に京東全

球購に旗艦店をオープンしている。コーセーコスメポートは日本の 4 大化粧品メーカーの一角「コーセー」の子会社として 1988 年に設立された。10 年間累計販売実績 1 位を誇るシートマスク「クリアターン」、洗顔・クレンジング用品「ソフティモ」、UV ケア商品「サンカット」など、コスメ関連の掲示板で常にランキング上位にあがる人気ブランドを擁する。(中国網 8 月 1 日)

(1 1) 米アップル、中国に初の R&D センター設立を計画

米アップルのティム・クック CEO がこのほど中国を再訪、中国メディアの取材に対して、2016 年末までに中国にアジア地区で初めての独立運営される研究開発 (R&D) センターを設立すると漏らした。R&D センターの設立場所、投資額、マンパワー配置などについては、明らかにされなかった。また、R&D センター設立の目的としては、「中国のユーザーにより適した製品を生産し、中国現地のパートナーとの関係を強化して効果的なパートナーシップを築くこと」と述べるにとどまった。

(人民網 8 月 17 日)

(1 2) ユニクロ、利益が 5 割減 ファストファッショントピックに課題

ファストファッショントピックのユニクロはこのほど、過去 3 四半期の売上データを発表した。同期の営業収入は 124 億 8 千万ドルに上り、営業利益は 12 億 7 千万ドルで前年同期比 23% 減少した。税引前利益は 6 億 1700 万ドルで同 46.4% 減少と大幅に減少した。「北京商報」が 18 日に伝えた。

かつて大陸部で大人気だったユニクロも、今や後退するファストファッショントピックに並ばなければならなくなつた、ユニクロは過去約 3 年間にわたり、業績悪化の状態が続いている。2008~12 年にはファストファッショントピックが急速に市場を占領した。だが一世を風靡したユニクロでさえ業績悪化の「ワーテルローの戦い」から逃れることはできなかつた。ここから、目下の経済環境の中、ファストファッショントピックが市場のさまざまな課題に直面するようになったことがうかがえる。(人民網 8 月 19 日)

(1 3) 米モンスターエナジー 「怪獣」は先に登録されており中国では「鬼爪」

中国の消費者の間で「モンスターエナジー」として知られるエネルギー飲料を製造する米国 2 位のエネルギー飲料製造メーカー・モンスター・ビバレッジはこのほど、コカコーラ社のプラットフォームを通じて同飲料を中国で発売する運びになつた。すると困ったことに、中国語でモンスターを表す「怪獣」はすでに中国のメーカーによって商標登録済みで、おまけにこのメーカーはモンスターエナジーに酷似したパッケージと機能の飲料を製造していた。そこで怪獣は使えず、モンスターエナジーは中国では「鬼爪」と名乗ることになった。「京華時報」が伝えた。

このたびの中国進出では、レッドブルや楽虎などの挑戦に挑むだけでなく、すで

に登録された怪獣の商標にどう対処するか、製品の位置づけや見た目が鬼爪に似た中国の怪獣飲料にどう対処するかという問題にも直面することになる。

モンスターは中国への進出が遅れ、気付いた時には曼斯特飲料（上海）有限公司のエネルギー飲料・怪獣が発売されていた。パッケージも機能もモンスターにそっくりで、商標登録も申請済みだった。（人民網 8月 2日）

（14）中国の投資グループが AC ミランを 7 億 4000 万ユーロで買収

中国資本がこのほど、イタリアプロサッカーリーグ（レガ・カルチョ）に加盟する AC ミランを買収した。買収のうわさが浮上してから約 2 年でついにそれが現実となった。中国の投資グループは今回、株式 93.93% を 7 億 4000 万ユーロ（約 833 億円）で AC ミランを買収することで合意した。今回の買収の代表者は、「海峡資本」と「中欧体育投資管理長興有限公司」の李勇鴻・主席。中国のコンソーシアムは、「海峡資本と李主席以外にも投資者が AC ミラン買収に参加した」と明らかにしている。6 月 6 日、中国の家電量販大手・蘇寧雲商集團（江蘇省）が、同じくイタリアプロサッカーリーグに加盟するインテル・ミラノを、2 億 7000 万ユーロ（約 330 億円）で買収すると発表した。（人民網 8 月 6 日）

（15）広東省、資産 1 千万元以上の富豪が最も多い省に

2016 年 5 月末現在、大陸部で 1 千万元（約 1 億 5199 万円）以上の資産をもつ人は約 134 万人おり、前年同期に比べて 13 万人増加し、増加率は 10.7% に達した。1 億元（約 15 億 1992 万円）以上は約 8 万 9 千人で、同 1 万 1 千人増加し、増加率は 14.1% だった。白書によると、今年は広東省が北京市に代わって、資産 1 千万元以上の富豪が最も多い省になり、人数は 24 万人で同 17.7% 増加した。北京は 2 位で 23 万 8 千人、同 2 万 4 千人増加した。3 位は上海で同 2 万 4 千人増加して、20 万 5 千人になった。浙江省は 4 位で同 1 万 4 千人増加の 16 万人。この 4 省市を合わせると 84 万 3 千人となり、全国の 63% を占める。（人民網 8 月 16 日）

（16）「熱い飲み物を飲む」ことで癌に？ WHO が認める

世界保健機関（WHO）の外部組織となる国際がん研究機関（IARC）は、コーヒーなどのホットドリンクと発癌のリスクを検証したところ、その結果は思いがけないものだった。国際がん研究機関の主任クリストファー・ワイルド氏によれば「研究の結果、非常に熱い飲み物（温度 65℃ 以上）には食道癌の発癌リスクがあることがわかった。癌リスクは温度にあり、飲み物の種類には関係ない」ということだ。つまり、「飲み物の種類」よりも「温度」の方が食道癌のリスクに大きくかかわってくるということだ。たとえ白湯でも、65℃ 以上だと、食道癌を引き起こす「発がん性物質」となり得る可能性があるということだ。（人民網 8 月 17 日）

(17) リオ卓球女子団体、表彰台に上がった9人のうち、7人が中国の東北訛り

リオデジャネイロ五輪は、卓球女子団体決勝を行い、中国がドイツを3-0のストレートで下し、同種目3連覇を達成した。表彰式では、中国チームが日本チームとドイツチームを招いて記念撮影をする一幕もあり、劉選手と耳元でささやき合った福原愛選手は会心の笑顔を見せた。中国の李選手、劉選手は遼寧省出身で、丁選手は黒竜江省出身。2位だったドイツの韓瑩選手、単曉霞選手は帰化中国人で二人とも遼寧省出身だ。また、日本の福原選手は中国の遼寧省チームに所属していたほか、石川佳純選手のコーチも中国人で、二人とも中国東北地方訛りの中国語を流ちょうに話す。

ネットユーザーからは、「表彰台に上がった9人のうち7人は東北訛りで、女子卓球界では東北訛りの天下」との声が上がっている。（人民網8月18日）

以上